

ヤマシンフィルタ株式会社 2018年3月期 第1四半期 決算説明資料

~中国市場の大幅回復により、増収増益を達成。
引き続き開発力の強化・生産体制の最適化を図る~

2017年8月4日
(証券コード:6240)



I

2018年3月期 第1四半期 実績

~中国市場の大幅な回復~

II

YVA “YAMASHIN Value Added”

~KGI, KPI, KSFの設定~

III

参考資料 / 2018年3月期通期計画

~生産体制最適化に向けた飽くなき挑戦~

Executive Summary

Key Goal Indicator
(KGI)

Key Performance Indicator
(KPI)

Key Success Factor
(KSF)

YVA: YAMASHIN Value Added
ヤマシンフィルタの付加価値指標

ROE
Prv: 10.0%
Cur: 20.9%

YVAスプレッド
Prv: 2.5%
Cur: 11.7%

ROA
Prv: 6.5%
Cur: 13.6%

ROIC
Prv: 8.5%
Cur: 17.7%

WACC
Prv: 6.0%
Cur: 6.0%
P.20

売上高営業利益率
Prv: 9.6%
Cur: 16.7%

売上総利益率
Prv: 44.6%
Cur: 45.7%

販管費率
Prv: 35.0%
Cur: 29.1%

投下資本回転率
Prv: 1.3
Cur: 1.5

運転資本回転率
Prv: 3.7
Cur: 4.1

固定資産回転率
Prv: 3.7
Cur: 3.5

売上高伸長率
Prv: 5.8%
Cur: 30.9%

売上原価率
Prv: 55.4%
Cur: 54.3%

減価償却費率
Prv: 2.9%
Cur: 1.8%

研究開発費率
Prv: 1.7%
Cur: 2.1%

人件費率
Prv: 16.6%
Cur: 12.5%

売上債権回転率
Prv: 4.6
Cur: 4.7

棚卸資産回転率
Prv: 6.8
Cur: 7.9

仕入債務回転率
Prv: 5.9
Cur: 5.5

有形固定資産回転率
Prv: 7.7
Cur: 9.8

無形固定資産回転率
Prv: 51.3
Cur: 34.8

**新製品開発
純正率向上** P.5-7
P.14-16

**購買力強化
歩留り改善** P.8, 17

投資計画 P.18

**テーマの絞り込み
優先順位** P.18

最適な人員構成 P.19

債権管理 P.9

適正在庫の設定 P.9

債務管理 P.9

設備計画 P.18

投資計画 P.18

Prv: 2017年3月期の値、もしくは前年同期比
Cur: 2018年3月期Q1の値、もしくは前年同期比(一部PL項目については年換算)

I . 2018年3月期 第1四半期 実績

~中国市場の大幅な回復~



2018年3月期 第1四半期実績(2017/4-6)

- 中国市場回復を主な背景に、大幅な増収増益

		17.3期	18.3期	18.3期	前期比増減	
		Q1	Q1	Q1	金額	%
(単位:百万円)		実績	計画	実績		
売上高		2,347	2,726	3,072	725	30.9%
営業利益		192	267	512	320	166.4%
当期純利益		159	179	355	195	122.6%
為替レート	USD	108.2	115.0	111.1	2.9	2.7%
	EUR	122.1	120.0	122.2	0.1	0.1%

※実績為替レートは期中平均の値です。

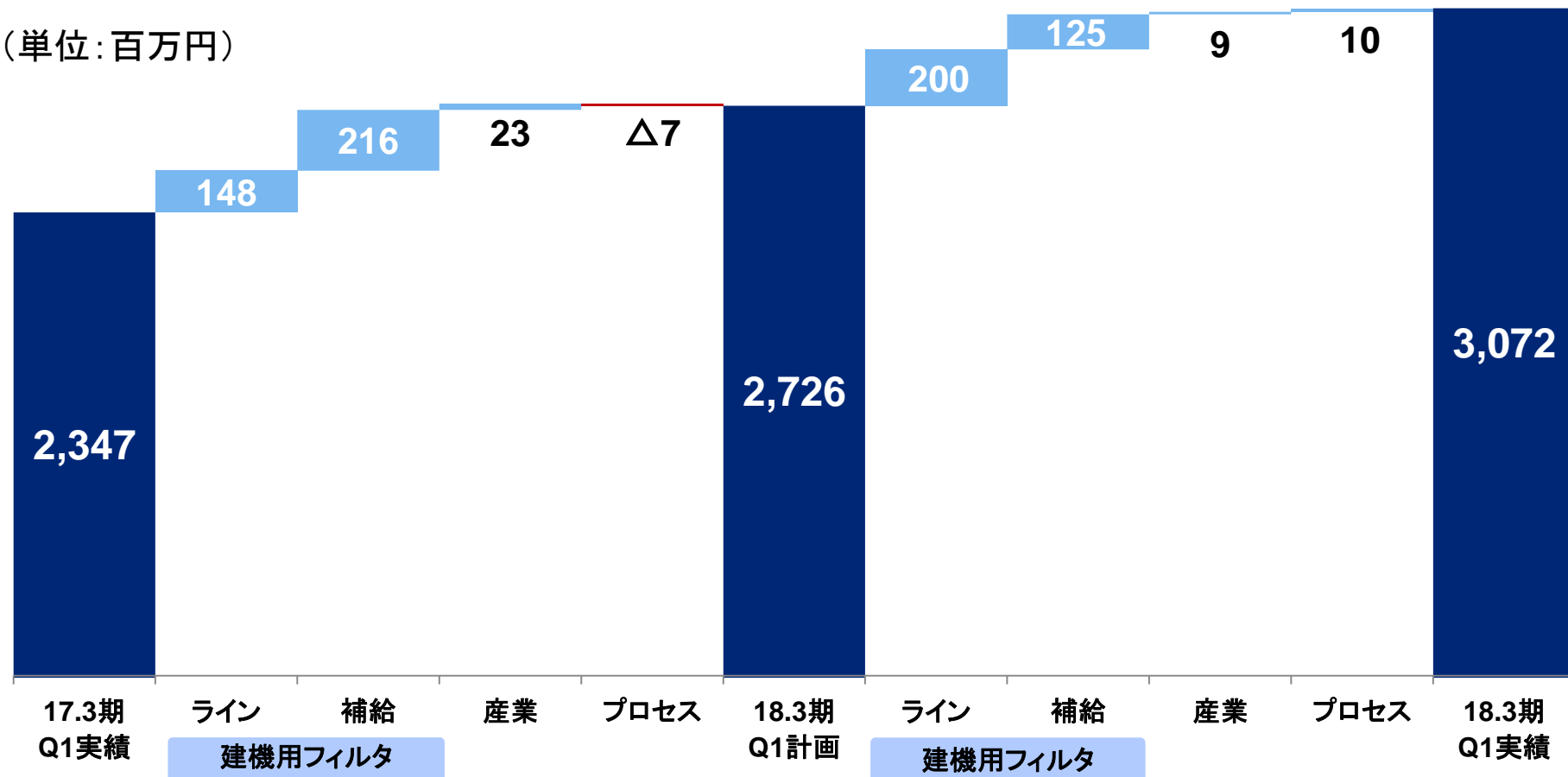
- ライン品および補給品ともに、前期比・計画比において、増収を達成

	17.3期	18.3期	18.3期	前期比増減	
	Q1	Q1	Q1	金額	%
(単位:百万円)	実績	計画	実績		
建機用フィルタ	2,052	2,415	2,741	689	33.6%
ライン品	900	1,048	1,249	348	38.7%
補給品	1,151	1,367	1,492	340	29.6%
産業用フィルタ	97	120	129	32	33.0%
プロセス用フィルタ	197	190	201	3	2.0%
売上高合計	2,347	2,726	3,072	725	30.9%

売上高の増減要因

- ライン品および補給品ともに、前期比・計画比において、増収を達成

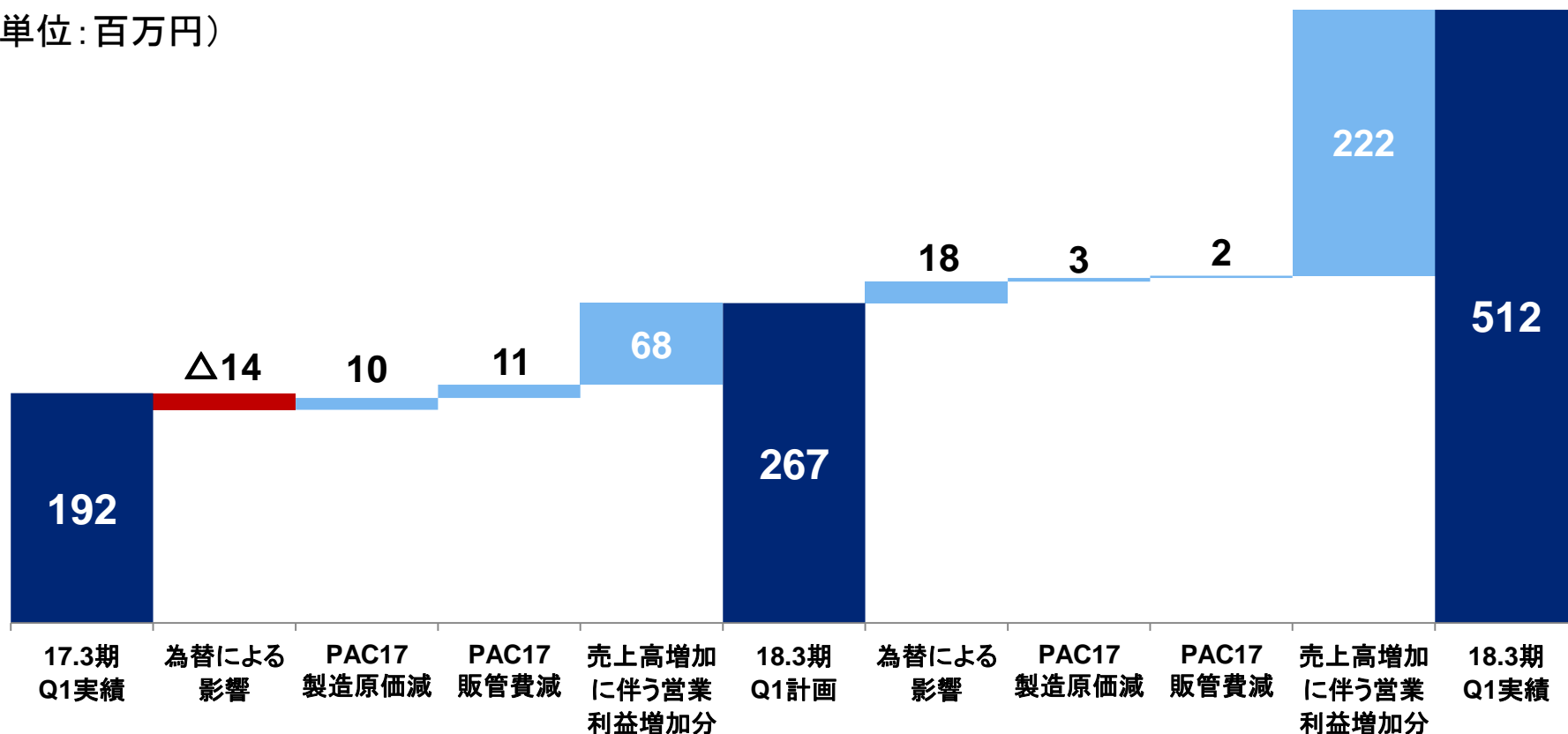
(単位:百万円)



営業利益 増減要因

- 売上高増加が、営業利益増加に大きく寄与

(単位:百万円)



※PAC (Promptly Activated Cost reduction) 全社的なコスト削減プロジェクト

貸借対照表

● 18.3期Q1の自己資本比率は、65.2%

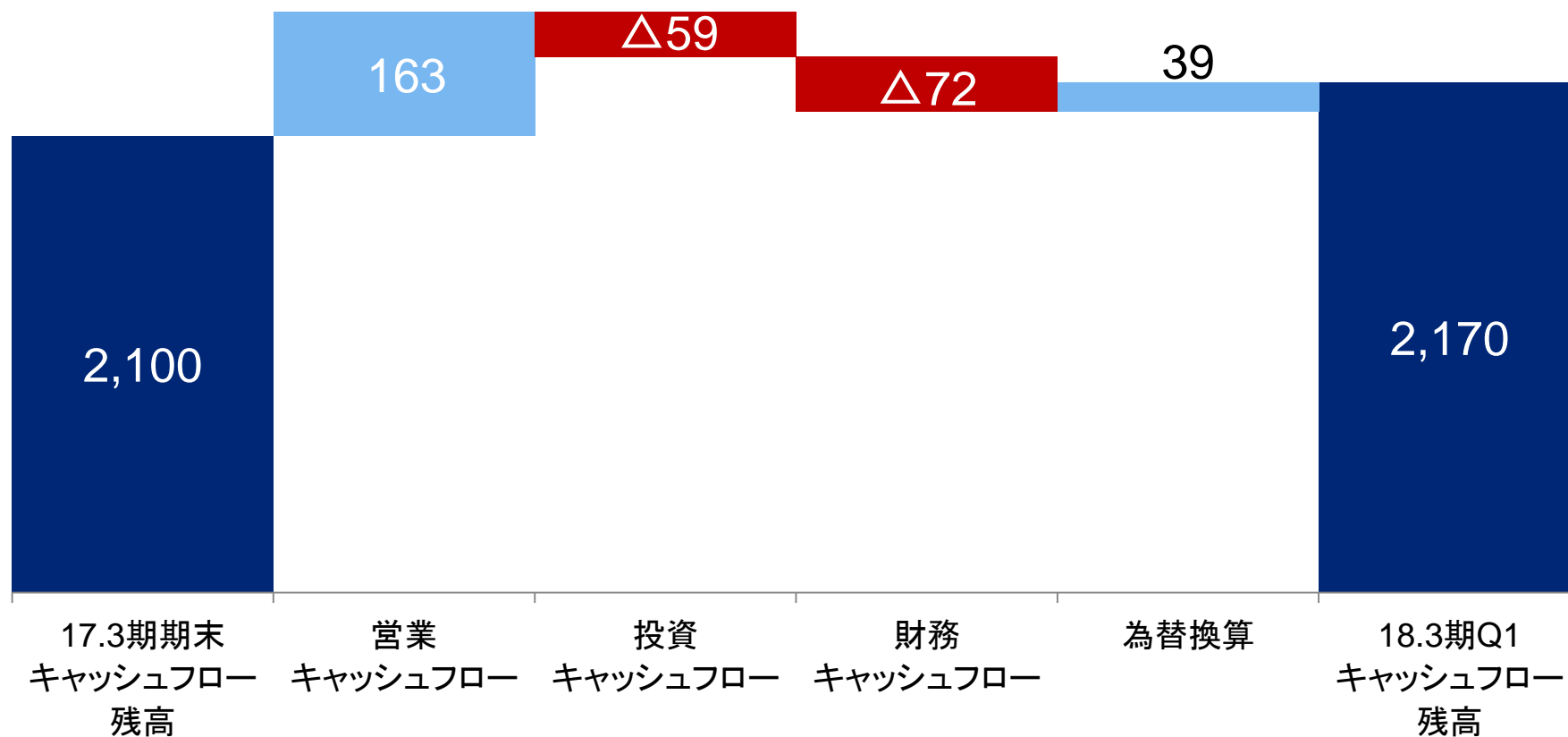
(単位: 百万円)		2017/3期 期末	2018/3期 Q1	増減額	増減率			2017/3期 期末	2018/3期 Q1	増減額	増減率	
流動資産		6,695	7,243	548	8.2%	流動負債		2,374	2,612	238	10.0%	
現金・預金	2,263	2,333	70	3.1%	支払手形及び買掛金	1,085	1,359	273	25.2%			
受取手形及び売掛金	2,480	2,759	278	11.2%	短期借入金 1年以内返済社債・長借	500	500	-	-			
商品・製品 & 原材料・貯蔵品	1,457	1,672	214	14.7%	その他	788	752	△ 35	△4.5%			
その他	493	478	△ 15	△3.1%	固定負債	1,131	1,118	△ 12	△1.1%			
固定資産		3,462	3,467	4	0.1%	社債	600	600	-	-		
有形固定資産	1,272	1,239	△ 33	△2.6%	長期借入金	150	150	-	-			
無形固定資産	292	413	120	41.1%	退職給付に係る負債	173	173	-	△0.3%			
投資その他資産	1,897	1,814	△ 83	△4.4%	その他	207	195	△ 12	△5.9%			
資産合計		10,158	10,710	552	5.4%	純資産合計	6,652	6,979	326	4.9%		
						負債純資産合計	10,158	10,710	552	5.4%		

*自己資本比率 65.5% 65.2%

キャッシュフローの増減要因

- 現金及び現金同等物の残高は前期末比で増加

(単位:百万円)



為替マリーの状況

- グループ取引の約7割は円建取引
- 円建以外の取引通貨のほとんどはUSDで、ほぼ完全に為替マリーしている

(単位:百万)

Currency	Incoming			Outgoing			Net 各通貨	期中 平均レート (JPY)	円高ケース(10%)			円安ケース(10%)		
	各通貨	円換算	構成比	各通貨	円換算	構成比			期中平均 レート ▲10% (JPY)	レート 差額	影響額 (QTD)	期中平均 レート +10% (JPY)	レート 差額	影響額 (QTD)
JPY	¥3,800.0	¥3,800.0	72%	¥3,400.0	¥3,400.0	67%	¥400.0	-	-	-	-	-	-	
USD	\$11.8	¥1,307.6	25%	\$11.7	¥1,296.5	26%	\$0.1	¥110.8	¥99.73	¥-11.08	¥-1.11	¥121.89	¥11.08	¥1.11
EUR	€ 1.0	¥120.4	2%	€ 0.7	¥84.3	2%	€ 0.3	¥120.4	¥108.36	¥-12.0	¥-3.61	¥132.44	¥12.04	¥3.61
PHP	PP0.0	¥0.0	0%	PP122.9	¥273.2	5%	PP-122.9	¥2.2	¥2.00	¥-0.2	¥27.32	¥2.45	¥0.22	¥-27.32
THB	฿14.80	¥47.7	1%	฿5.50	¥17.7	0%	฿9.30	¥3.2	¥2.90	¥-0.3	¥-3.00	¥3.55	¥0.32	¥3.00
Total	-	¥5,275.7	100%	-	¥5,071.8	100%	-	-	-	-	¥19.61	-	-	¥-19.61

Ⅱ. YVA “YAMASHIN Value Added”

~KGI, KPI, KSFの設定~



YVAスプレッドの分解図(再掲)

Key Goal Indicator
(KGI)

Key Performance Indicator
(KPI)

Key Success Factor
(KSF)

YVA: YAMASHIN Value Added
ヤマシンフィルタの付加価値指標

ROE
Prv: 10.0%
Cur: 20.9%

YVAスプレッド
Prv: 2.5%
Cur: 11.7%

ROA
Prv: 6.5%
Cur: 13.6%

ROIC
Prv: 8.5%
Cur: 17.7%

WACC
Prv: 6.0%
Cur: 6.0%
P.20

売上高営業利益率
Prv: 9.6%
Cur: 16.7%

売上総利益率
Prv: 44.6%
Cur: 45.7%

販管費率
Prv: 35.0%
Cur: 29.1%

投下資本回転率
Prv: 1.3
Cur: 1.5

運転資本回転率
Prv: 3.7
Cur: 4.1

固定資産回転率
Prv: 3.7
Cur: 3.5

売上高伸長率
Prv: 5.8%
Cur: 30.9%

売上原価率
Prv: 55.4%
Cur: 54.3%

減価償却費率
Prv: 2.9%
Cur: 1.8%

研究開発費率
Prv: 1.7%
Cur: 2.1%

人件費率
Prv: 16.6%
Cur: 12.5%

売上債権回転率
Prv: 4.6
Cur: 4.7

棚卸資産回転率
Prv: 6.8
Cur: 7.9

仕入債務回転率
Prv: 5.9
Cur: 5.5

有形固定資産回転率
Prv: 7.7
Cur: 9.8

無形固定資産回転率
Prv: 51.3
Cur: 34.8

新製品開発
純正率向上
P.5-7
P.14-16

購買力強化
歩留り改善
P.8, 17

投資計画
P.18

テーマの絞り込み
優先順位
P.18

最適な人員構成
P.19

債権管理
P.9

適正在庫の設定
P.9

債務管理
P.9

設備計画
P.18

投資計画
P.18

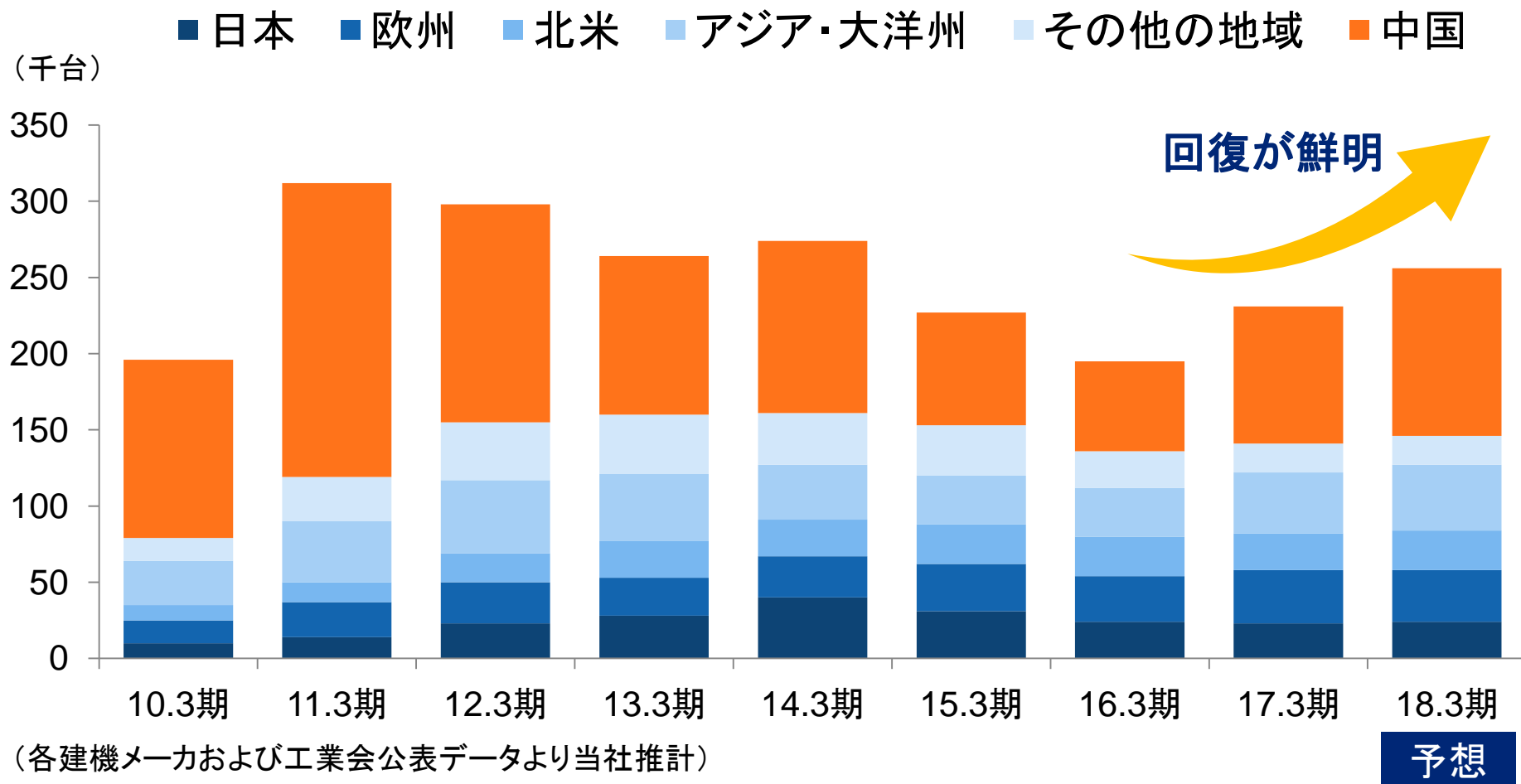
Prv: 2017年3月期の値、もしくは前年同期比
Cur: 2018年3月期Q1の値、もしくは前年同期比(一部PL項目については年換算)

新製品開発、純正率向上

		対応方針のKeyword	効果検証
建機 フィルタ	ライン品	故障予知、ICT技術の提案 効率化の提案	実機データ収集段階 試験データ収集段階
	補給品	セミナー展開によって 非純正品からのシェア奪回	中国等のエリア特性に合わせた マーケティング活動を順次展開
産業 フィルタ		パートナーとの協力体制強化	パートナーとの協業進む。 既存製品のコスト減へ
プロセス フィルタ		製品シリーズの多様化	ラインナップ拡充に向けた開発を スタート

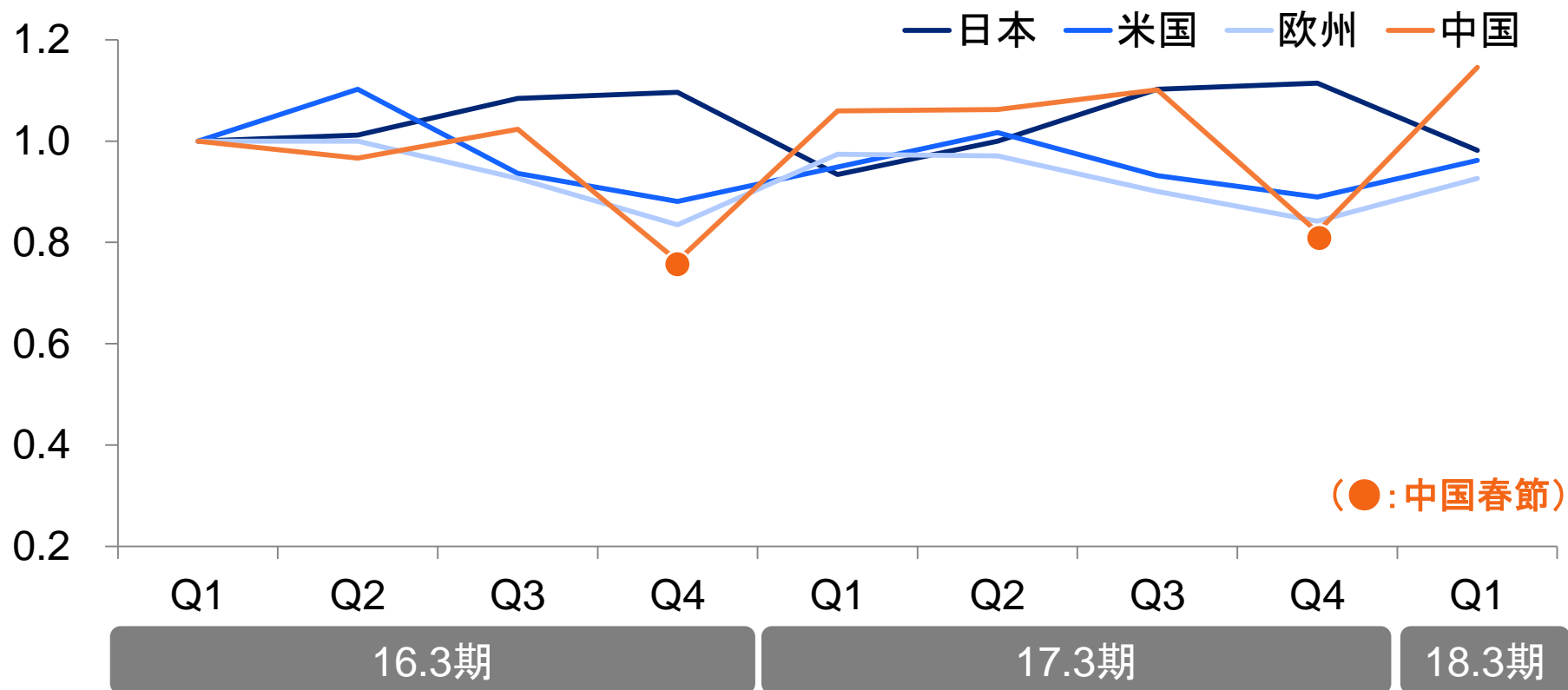
事業環境/油圧シヨベル新車需要

- 中国建機市場は、公共工事等により回復が続く見込み



● 18.3期Q1の中国での建機稼働時間は、対前年同期比較で回復

(2015年4~6月の値を1.0として指数化、四半期ごとの推移)



出所: 野村証券アナリストレポートをもとに当社作成

- 「購買改革」、「サプライチェーンの見直し」によるコスト低減を目指す

PAC17

狙い

- 購買改革
- サプライチェーンの見直し

具体的
取り組み

Q1施策実績

- 中国サプライヤの新規開拓実施
- 佐賀生産からセブ生産への移行による労務費低減
- 一部製品の組み立てを外注化

Q1削減実績

- 製造原価 12百万円(進捗率6%, Q1目標126%達成)
- 販管費 14百万円(進捗率30%, Q1目標121%達成)

通期削減目標

製造原価 2.1億円
販管費 0.4億円

● 将来の収益獲得のため、設備投資を増加

主な投資案件

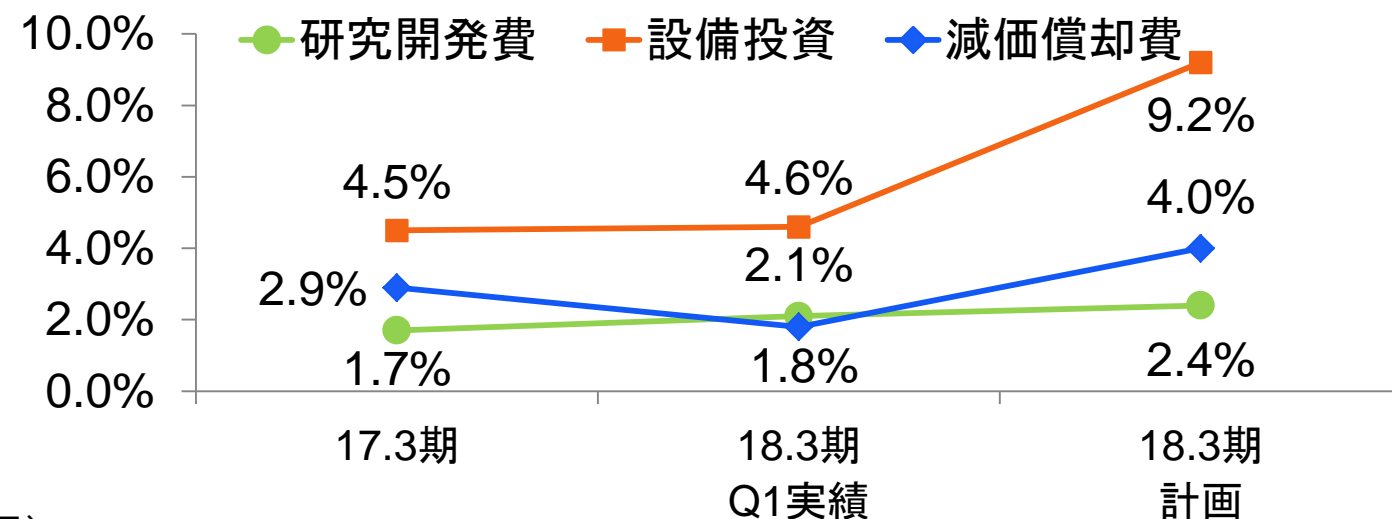
17.3期

ERP関連
248百万円

18.3期

生産設備、
R&D関係等
646百万円

売上高
構成比%



(単位:百万円)

● 研究開発費	172	66	267
■ 設備投資	448	140	1,017
◆ 減価償却費	294	56	444

最適な人員構成

- グループ全体の経営管理体制を担う有用な人材を育成・確保していく
- 各拠点間の人材連携を強化し、効率化を図る

タレントマネジメント

グループ全体のキャリア
マップを作成、適材適所

ダイバーシティ

人材の多様性を踏まえた
採用育成プログラム

新人事制度

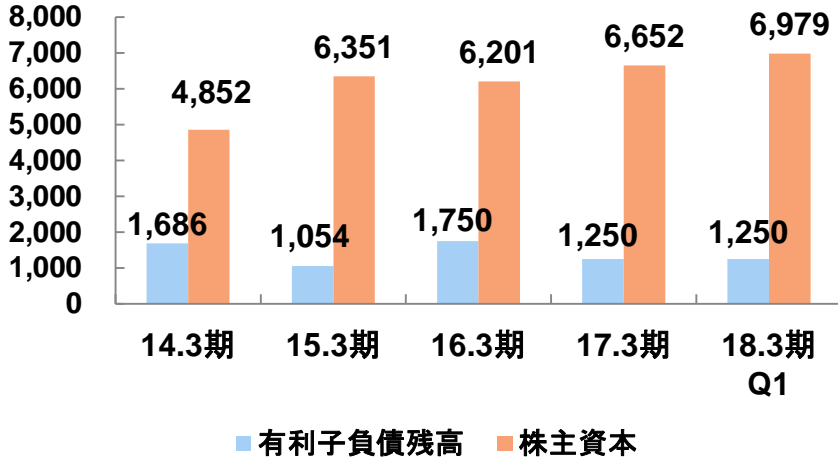
2017年4月より運用開始
役割の明確化・公平な評価

○参考：人件費・労務費構成比

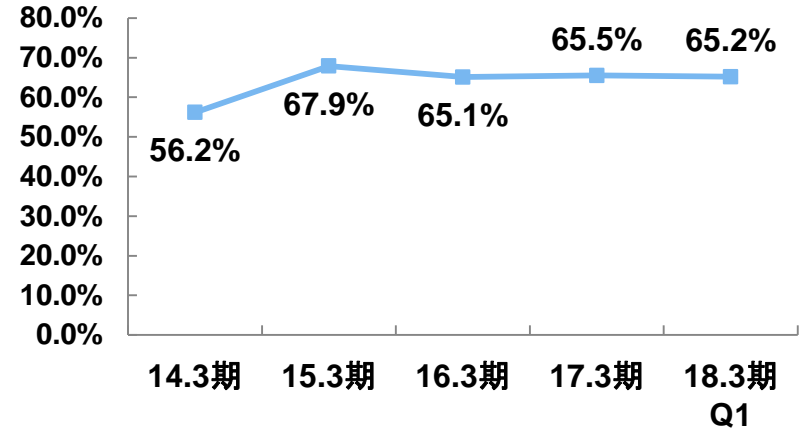
	17.3期	18.3期	前期比増減
	Q1実績	Q1実績	%
営業	33.3%	32.4%	△1.0%
開発	20.3%	21.3%	1.0%
生産	26.1%	27.0%	0.9%
管理	20.2%	19.3%	△0.9%
合計	100.0%	100.0%	-

有利子負債及び株主資本

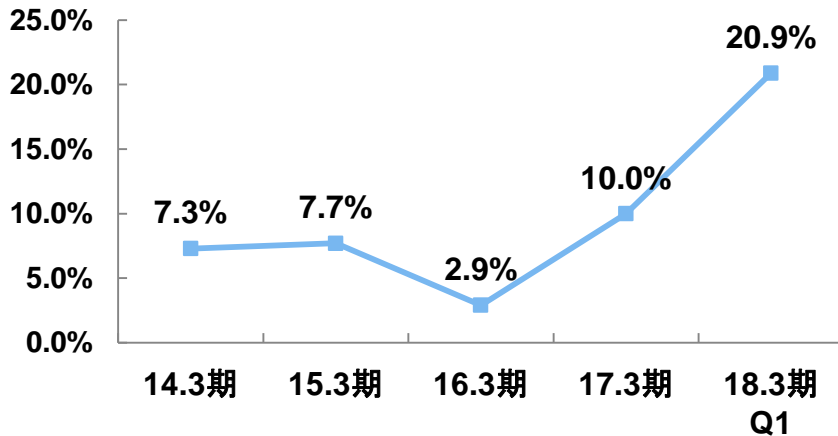
(単位:百万円)



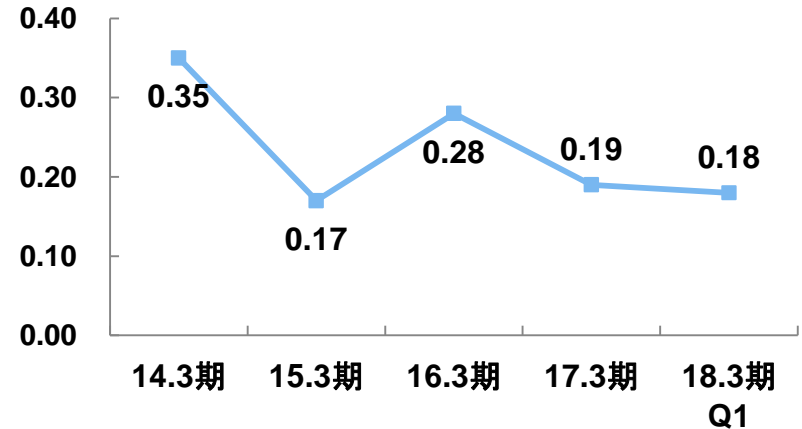
株主資本比率



ROE

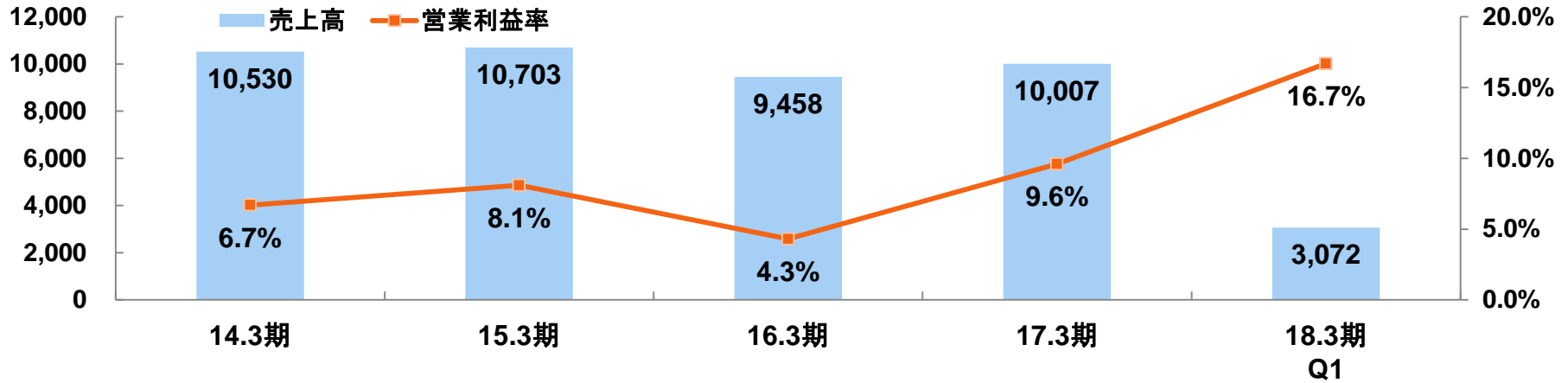


D/Eレシオ

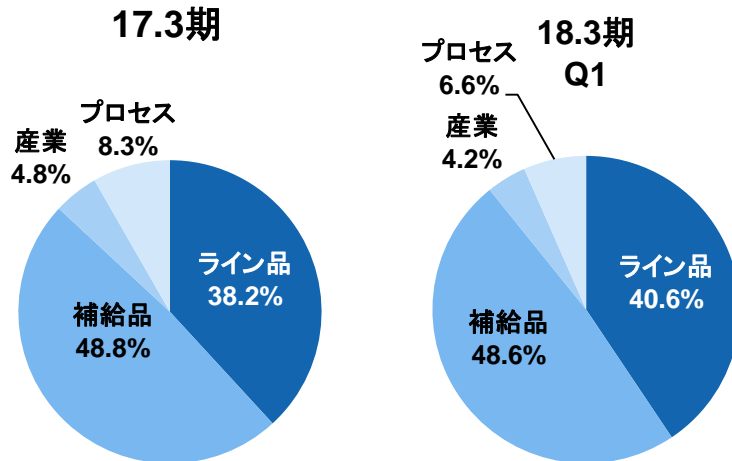


売上高・営業利益率推移

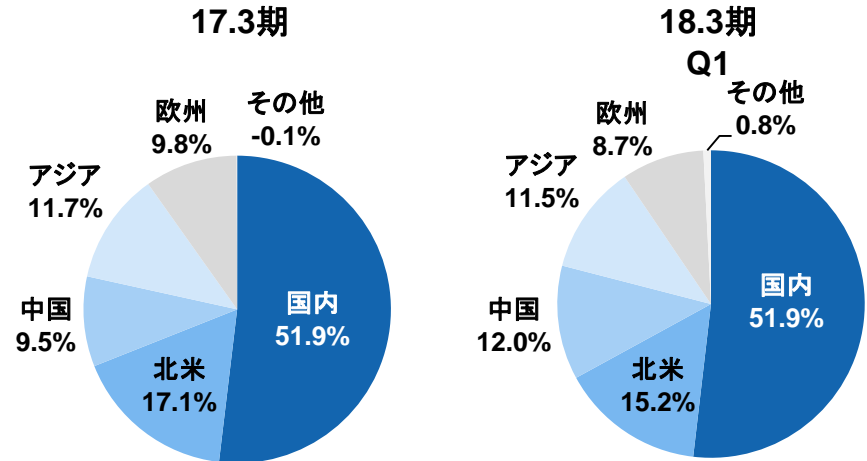
(単位:百万円)



製品別売上高



地域別売上高



Ⅲ. 参考資料 / 2018年3月期通期計画



当社決算の特徴

セグメント と KPI

- 建機用フィルタは「ライン品」と「補給品」にわかれる
- ライン品は新車搭載用のフィルタ
 - 重要指標は、「新車需要台数」
- 補給品は交換部品用のフィルタ
 - 重要指標は、「稼働台数」×「稼働時間」

販売形態 地域別動向 コスト削減

- 販売形態
 - 建機用フィルタの売上は、建機メーカーへの直接販売
エンドユーザへの直販は基本的に行っていない
- 地域別動向
 - 地域別売上高は参考値。当社請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と異なる
- PAC17 (Promptly Activated Cost reduction 2017)
 - 売上の低迷を背景とした、全社的なコスト削減プロジェクト

地域別売上高 実績 (参考)

- (注) 当社請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

	17.3期 Q1		18.3期 Q1		前期比増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
(単位:百万円)						
国内	1,195	50.9%	1,594	51.9%	399	33.4%
北米	376	16.0%	467	15.2%	91	24.2%
中国	185	7.9%	367	12.0%	181	98.0%
アジア	259	11.1%	352	11.5%	92	35.7%
欧州	290	12.4%	265	8.7%	△ 25	△8.6%
その他(中東他)	39	1.7%	25	0.8%	△ 14	△36.3%
売上高合計	2,347	100.0%	3,072	100.0%	725	30.9%

YVAスプレッドの分解図:補足

用語	計算式
YVA スプレッド	ROIC - WACC
ROIC	NOPAT ÷ 投下資本
投下資本利益率	(経常利益+支払利息) ÷ 投下資本
運転資本回転率	売上高 ÷ (売上債権+棚卸資産-仕入債務)
固定資産回転率	売上高 ÷ 固定資産
売上債権回転率	売上高 ÷ 売上債権
棚卸資産回転率	売上高 ÷ 棚卸資産
仕入債務回転率	売上原価 ÷ 仕入債務
有形固定資産回転率	売上高 ÷ 有形固定資産
無形固定資産回転率	売上高 ÷ 無形固定資産

※四半期の損益計算書項目について年間換算で計算しております。

※貸借対照表項目について期首期末平均で計算しております。

2018年3月期 通期業績予想

- 売上高は、中国市場の本格回復、アジア諸国への波及を期待
- 利益段階は、先行投資を実施することで、前期比小幅増益

		17.3期	18.3期	前期比増減	
		実績	計画 (2017/5/12)	金額	%
(単位:百万円)					
売上高		10,007	11,090	1,082	10.8%
営業利益		957	980	22	2.3%
当期純利益		640	660	20	3.1%
為替 レート	USD	108.4	115.0	6.6	6.1%
	EUR	118.8	120.0	1.2	1.0%

2018年3月期 売上予想 製品別

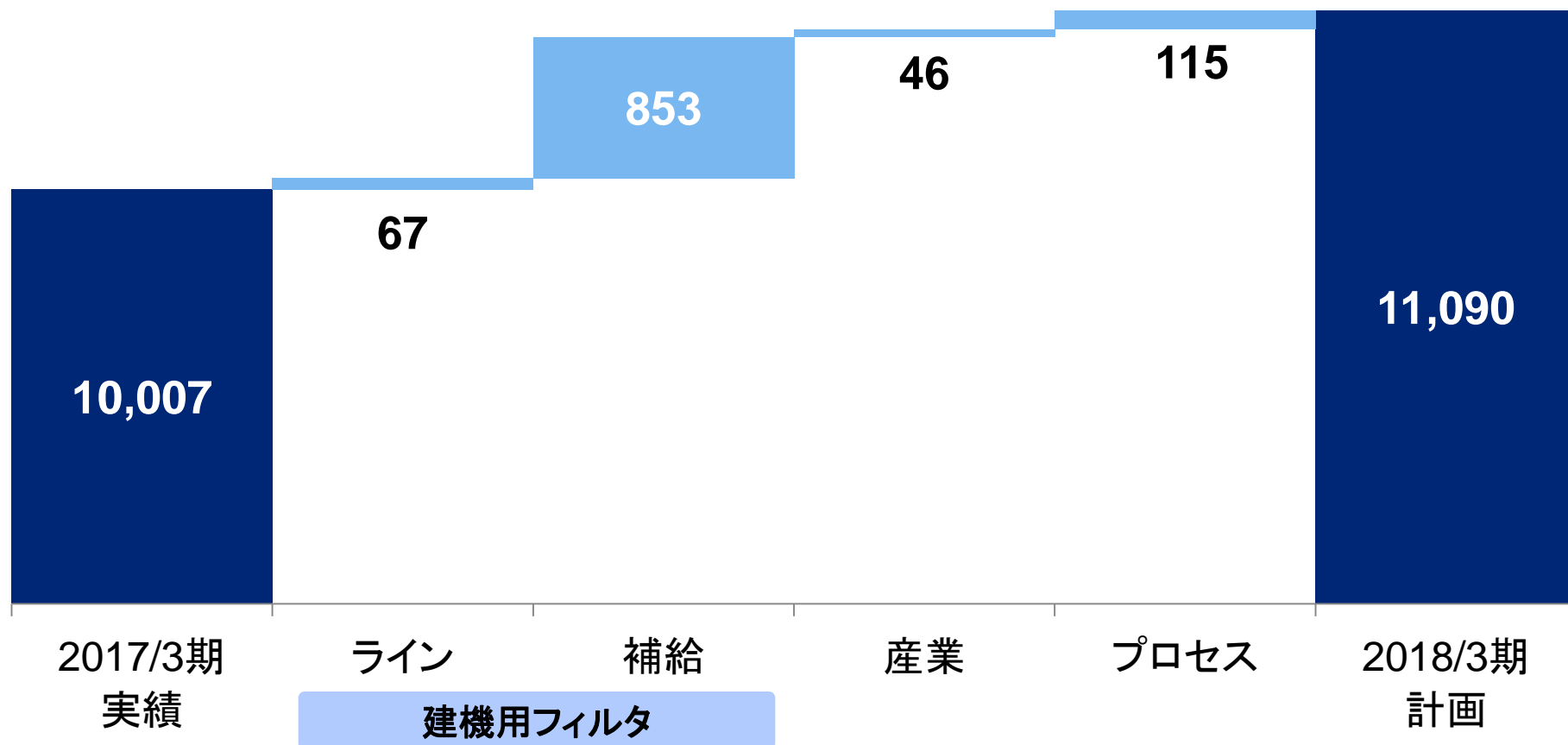
- 建機メーカ各社のアフターマーケット事業の推進による、需要増加を着実に取り込み、補給品2桁増収を見込む

	17.3期	18.3期	前期比増減	
	実績	計画 (2017/5/12)	金額	%
(単位:百万円)				
建機用フィルタ	8,705	9,626	921	10.6%
ライン品	3,825	3,893	67	1.8%
補給品	4,879	5,732	853	17.5%
産業用フィルタ	475	521	46	9.8%
プロセス用 フィルタ	826	941	115	13.9%
売上高合計	10,007	11,090	1,082	10.8%

売上高の増減要因

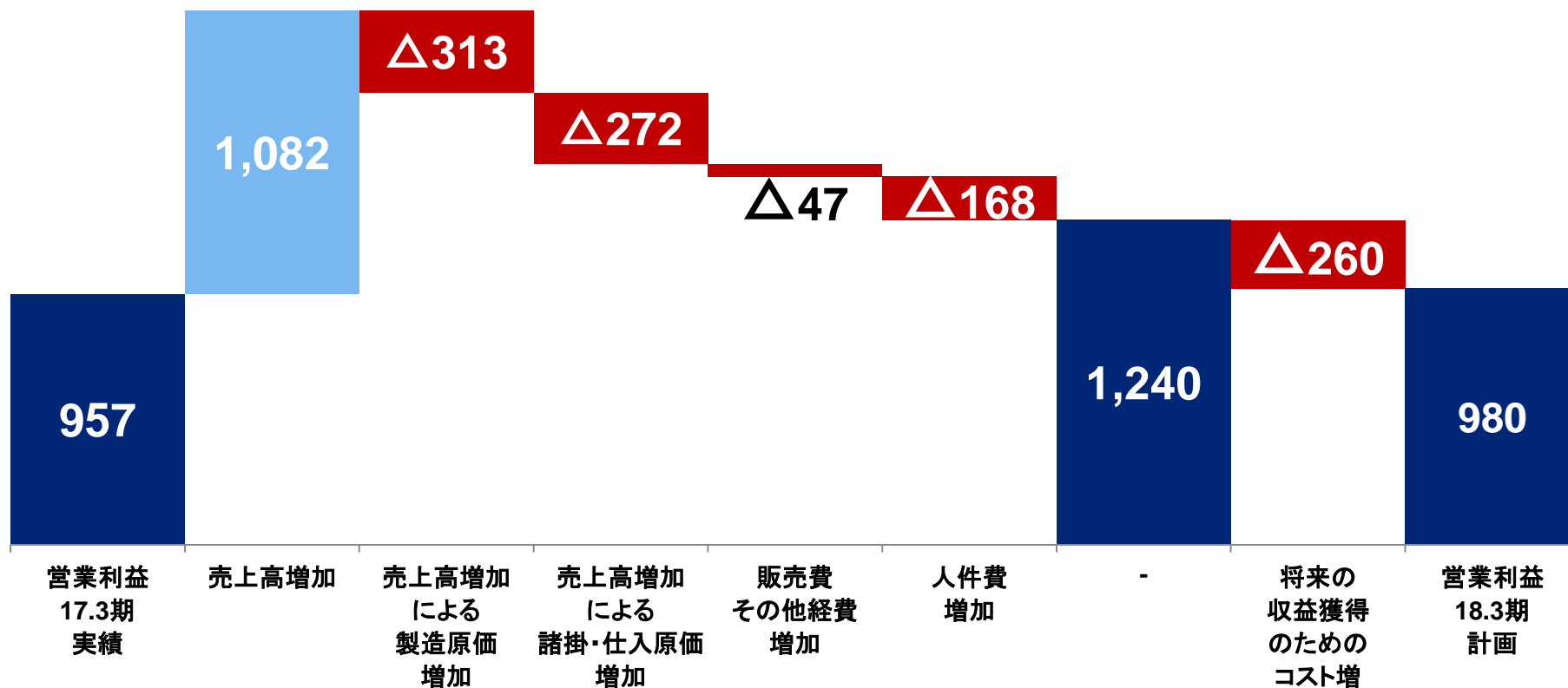
- 建機メーカー各社のアフターマーケット事業の推進による、需要増加を着実に取り込み、補給品2桁増収を見込む

(単位:百万円)



営業利益の増減要因

- 営業利益の増額は小幅にとどまるが、戦略的なコスト増によるもの



- 中間配当7円、期末配当7円の、年間14円

	16.3期	17.3期	18.3期*
1株当たり 配当金	10円	12円	14円
DOE	2.0%	2.3%	2.6%
総還元性向*	74.1%	25.6%	31.6%

※2018年3月期については、現時点での予定です。

※総還元性向=(配当総額+自己株式取得+株主優待)÷当期純利益

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは
ヤマシンフィルタ株式会社 経営企画室まで

TEL (045-680-1680)

E-mail: ir@yamashin-filter.co.jp